

- 伊勢湾台風から60年を迎え、当時の状況を振り返り、次世代を担うこどもたちに水害の記憶を語り継ぎ、防災について考えるシンポジウムを開催。
- こどもたちと行政トップが、「防災教育で学んだこと」、「大水害に備えて行政とこどもたちにできること」をテーマにパネルディスカッションを通じて水防災意識社会を啓発。

- 日時：令和元年11月16日(土) 10:00~12:30
- 会場：ぎふ清流文化プラザ長良川ホール
- 参加：約200人

## 第1部 伊勢湾台風を振り返る

## 第2部 未来へつなげる防災教育こどもサミット



▲ 榎橋 岐阜副市長

### 開会あいさつ

普段は自然の恩恵を受け暮らしているが、一度牙を剥けば大変な事になる。どれほど環境を整えても、想定を超える災害は必ず起きるという意識が大事である。



▲ 大橋 養老町長

### 開会あいさつ

養老町では、水害に対する危険意識が親から子へ脈々と伝えられている。昨今のゲリラ豪雨を踏まえ、災害時の対応を子どもたちと一緒に勉強してほしい。



▲ 川嶋 岐阜地方気象台長

### 気象概況

伊勢湾台風時の最大瞬間風速の記録は現在も破られていない。今後、非常に強い熱帯低気圧の数が増えると予測されており、対策を考えなければならない。



▲ 堀 木曾川上流河川事務所長

### 被害概要

昭和34年8月と9月の伊勢湾台風の出水で、揖斐川支川牧田川が2度決壊した。その後、治水計画を見直し、堤防補強とダム建設等の河川改修を行った。

### 伊勢湾台風語り継ぐ



伊勢湾台風体験者

台風は、すさまじい被害であった。命を守るために避難することの他に、保安対策も重要であり、地域で力を合わせて防災に取り組む必要がある。災害は毎年発生する。



■コーディネーター  
岐阜新聞社編集局論説委員  
一川 哲志

■パネリスト(行政トップ)  
岐阜市長 柴橋 正直  
養老町長 大橋 孝  
岐阜地方気象台長 川嶋 徹  
木曾上事務所長 堀 与志郎

■パネリスト(小学生)  
岐阜小学校4年生 2名  
長良小学校5年生 2名  
養老小学校5年生 2名

### 「防災教育で学んだこと」

- 過去からたくさんの人たちによる治水工事と水防団の活動で地域が守られている。
- 他人事と思わずみんなで対策を考えることで、水害から身を守る。
- 昔の人の水害に対する取り組みによって、今の私たちの暮らしを守ることにつながっている。

### 「大水害に備え行政とこどもたちにできること」

- 前もってマイタイムラインを作っておくことで、実際に災害が起きた時に冷静に行動できる。
- 岐阜市では、越境避難出来るよう近隣と協力体制を築いている。
- 養老町では、ハザードマップを更新している。常日頃から避難ルートの確認が重要である。



▲ 柴橋岐阜市長



▲ 一川論説委員



▲ 藤田岐阜小学校長

### 講演「防災教育の大切さ」

学校で地域の協力を得て防災教育を学ぶ事で、実際に災害が起きた際も、子ども達は自ら考え行動できるようになる。防災教育には地域の教育力が不可欠。



# 「伊勢湾台風から60年 未来へつなげる防災教育子どもサミット」を開催



## 同時開催 国土交通省で働くクルマたち

- ぎふ清流文化プラザ正面入口にて災害対策車の体験会を実施



▲ 災害対策車体験会の全景



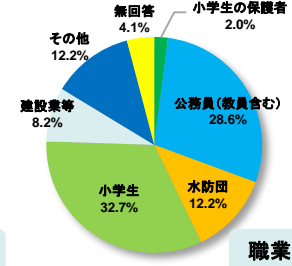
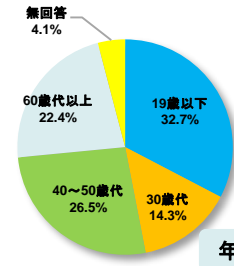
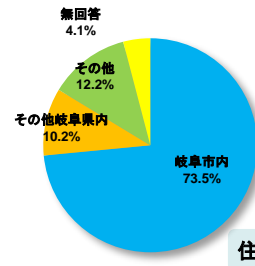
▲ 災害対策車について説明の様子



▲ 見学の様子

## アンケート結果

- 約200名の来場者名からアンケートのご回答をいただきました。
- アンケート結果の概要は以下の通りです。



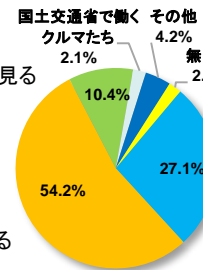
## 最も関心を持った内容について

### パネル展示

- 伊勢湾台風が起きた当時の写真を見る事で大水害を理解し勉強になった。
- 昔の災害と今の違いを理解する事が出来た。

### 未来につなげる防災教育

- 学校現場で行われている活動を見ることができて、どのようなプロセスで意識喚起や知識の普及が行われているかをイメージすることができた。
- 小学生の準備や本番での発表がとても素晴らしく驚いた。子供達がこれまでの水害、現在の取組み、自分たちの出来ることを学習していて良かった。
- マイタイムラインは素晴らしいと思うので、是非色々な小学校で広めてほしい。



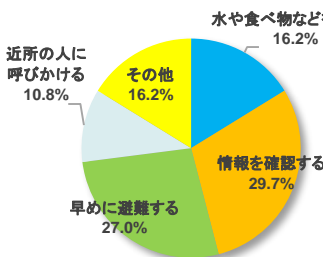
### その他

- 子供達の発表をもう少し見たかった。地域の皆さんに発表できる機会を作り、教えてあげて欲しい。

### 伊勢湾台風を振り返る

- 伊勢湾台風から60年、災害や体験を振り返ることで、防災教育が継承されていると分かって良かった。
- 風化せずに教訓として忘れないようにして行くことが大切だと思った。
- 普段聞くことの出来ない、様々な年代の方の話が聞いて良かった。

## 水害から命を守るために学んだことについて <小学生アンケート>



- 話を聞いてもっと自分に出来ることを考えようと思った。
- 避難できなかった時は、みんなで一緒に3階へ逃げる。
- 2階など高い所に避難する。(垂直避難)
- 近所の人と協力し助け合う。
- 家の人に呼びかけたり、声をかけあったりする。
- 水などの用意を呼びかける。
- 一人一人が自分で守ることを知ることができた。
- これから未来で台風にあったとき、子どもサミットのことを生かしたい。